様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和 7 年 5 月 20 日

部局等名	福祉部	課かい名	介護保険課	推進責任者氏名	大川　寿之

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	使用済みの文書フォルダや封筒等の事務用品で状態がよいものは繰り返し使用しました。
	具体的内容	使用済みの文書フォルダや封筒等の事務用品で状態がよいものは繰り返し使用します。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	外出時は共用自転車を優先的に使用しました。自転車で行けない距離の場所も公共交通機関を優先的に利用しました。
	具体的内容	外出の際は、共用自転車、公共交通機関を優先的に使用します。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	資料のペーパーレス化を推進して共有が必要な資料はデータ化し、ロゴチャット等で共有しました。
	具体的内容	資料のペーパーレス化を推進します。共有が必要な資料はデータ化し、ロゴチャット等による共有に努めます。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

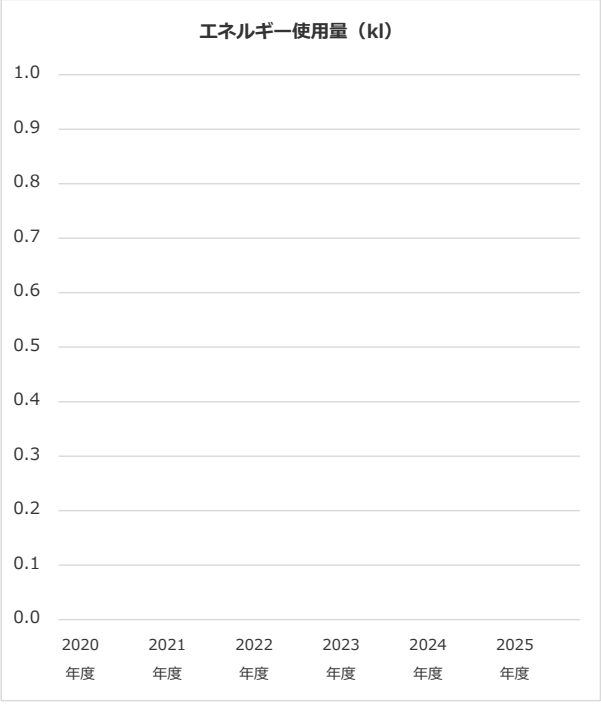
実績	前年度比　　%	達成状況	（選択してください）
達成/未達成の理由			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	0.0	0.0	0.0	0.0		
エネルギー使用量（kl）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	―	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	５月２８日実施。同日開催のC-EMS研修会の報告、C-EMSの概要及び今年度の重点取組項目について説明した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	該当なし
新任・異動者研修	■ 実施	転入職員に対しては５月２８日に実施。C-EMSの概要および当年度の重点取組項目および他の取組項目について説明し、当該取組への協力を依頼した。
	(選択してください)	

(3)指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 7 年 5月 20 日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
今年度については重点取組項目である「廃棄物の削減」を中心に取り組み、使用済みの文書フォルダや封筒等の事務用品で状態がよいものは繰り返し使用することを徹底しました。 また、ロゴチャットおよび電子メールの活用、共用自転車の積極的な使用、会議資料の簡略化およびミスプリ防止を徹底することにより紙の使用量を削減し、「資源の有効利用」にも取り組みました。	取組目標に対し一定の効果は出ておりますが、引き続き、環境活動や取組目標に関する職員の意識向上を目指したいと考えております。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月22日

部局等名	福祉部	課かい名	高齢福祉課	推進責任者氏名	松尾　由香

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	職員一人ひとりがゴミの分別やマイボトル等の使用を心掛けた。ゴミの分別ができていないケースも散見されるため、今後も声掛け等により課内での取組の徹底を図る必要がある。
	具体的内容	マイボトルやマイカトラリーを使用し、廃棄物の減量に努めます。また、ゴミを捨てる際は分別を心掛けます。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	外出時や昼休憩時にはスリープ機能を活用するよう心掛けた。コピー機は未使用時及び使用後には節電ボタンを押し、エネルギー使用量の削減に努めた。今後も職員同士で声掛け等を行い、浸透を図る必要がある。
	具体的内容	長時間離席するときは、パソコンのスリープ機能の活用を徹底し、コピー機の使用後は節電ボタンを押します。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	可能な限りチャット等を活用したデータでの共有を図り、印刷やコピーを必要最低限とした。また、打合せ資料等について、データでの共有のほか裏紙を活用するなど、ペーパーレス化を図った。今後も職員同士で声掛け等を行い、浸透を図る必要がある。
	具体的内容	印刷前はプレビューを確認し、ミスプリを防ぎます。また、裏紙を使用するなどし、資源の有効活用を行います。	

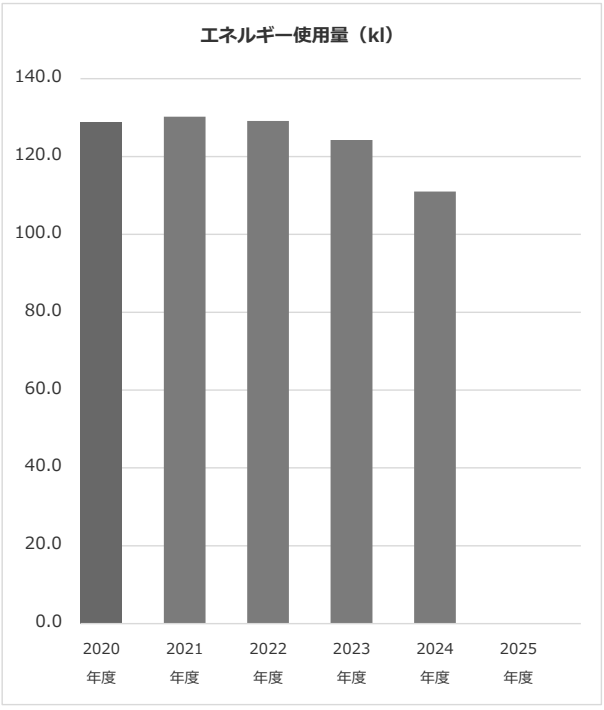
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比 −10.6% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	取組として計画していた利用者への協力の依頼や、空調フィルターの清掃、研修の実施について、計画どおり実施し、施設の節電努力により、前年度より使用量を減少することができたため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	4992.5	5047.7	5004.7	4815.0	4303.0	
エネルギー使用量（kl）	128.8	130.2	129.1	124.2	111.0	0.0
対前年度比（%）	—	**1.1%**	**−0.9%**	**−3.8%**	**−10.6%**	**−100.0%**

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	老人憩の家	計画	4施設全てにおいて、湿度、温度のバランスをとり、施設利用者へ協力を依頼する。
		実績	湿度、温度の管理を適切に行い、施設利用者へ協力を依頼した。
2	ケアセンター	計画	エアコンフィルターの清掃（月一）により消費エネルギーの抑制を図る。
		実績	エアコンフィルターの清掃（月一）を行った。
3	0	計画	0
		実績	

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	書面研修として、研修資料の全員回覧を行った。
法令遵守確認研修	■ 実施	産業廃棄物の適切な処理について、担当内と指定管理者へ周知を行った。
新任・異動者研修	■ 実施	書面研修として、研修資料の全員回覧を行った。
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和7年5月22日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
廃棄物の削減のため、ゴミの分別やマイボトルの使用等の取組を行った。また、エネルギー使用量の削減のため、パソコンのスリープ機能やコピー機の節電ボタンを使用するよう心掛けた。その他に、チャットの積極的な使用や、裏紙の活用を行い、資源の有効利用に努めた。 また、所管施設において湿度や温度の適正管理、利用者への協力依頼、空調フィルターの清掃等を行い、施設の節電努力により、前年度より使用量を減少することができた。	課内において、取組項目に対して多くの職員が積極的に取り組んでいた。ゴミの分別等について、徹底されていない部分も見受けられるため、今後も、好事例の共有や周知・声掛けの強化を行うことで、課内全体で良好な取り組みの浸透を図る。 また、引き続き所管施設に対してC-EMSに関する取り組みについての周知や要請をしていく。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月30日

部局等名	福祉部	課かい名	障がい福祉課	推進責任者氏名	鈴木　朗

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	廃棄物の分別の徹底を図りました。廃棄物の削減のため、執務室内のゴミ箱の削減、持ち込みごみの持ち帰りを推進しました。ゴム印やインク類の共有化を図りました。
	具体的内容	廃棄物の分別を徹底するとともに、事務用品の共有化・再利用を図ります。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	課内の情報共有についてLoGoチャットを活用し、できる限りペーパーレス化を図りました。印刷する必要があるものについては、裏紙を使用したり、資源の有効活用に努めました。
	具体的内容	LoGoチャットを活用するなどペーパーレス化を推進するとともに、印刷は必要最小限にとどめます。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	月2回（毎月第1金曜日及び給料日）のノー残業デーを徹底しました。手話講習会（夜間）や会議等が重なった場合は、できる限り直近の勤務日にノー残業デーを個別に設けました。
	具体的内容	ノー残業デーの実行を徹底します。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

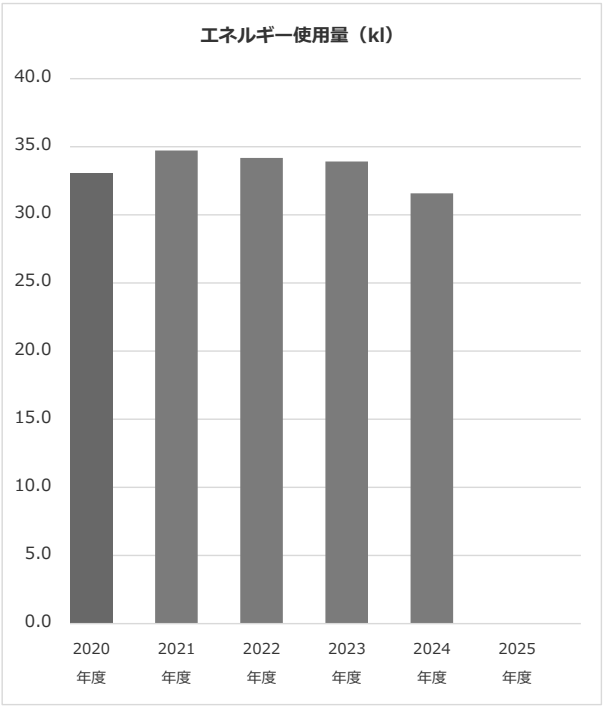
実績	前年度比 −6.9% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	節電等に積極的に取り組んだため。また、運営体制がコロナウイルス流行前の水準まで戻ったことが考えられる。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	1281.0	1346.0	1325.0	1315.0	1224.0	
エネルギー使用量（kl）	33.0	34.7	34.2	33.9	31.6	0.0
対前年度比（%）	—	**5.1%**	**−1.6%**	**−0.8%**	**−6.9%**	**−100.0%**

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	つつじ学園	計画	空調機器の一部更新
		実績	2階の空調機器（ドレンポンプ）の一部更新を実施。
2	あい活動ホーム赤	計画	照明機器の更新
		実績	作業室の照明機器の更新を実施。
3	生きがい会館	計画	指定管理者へ空調、照明等の省エネルギー化への取組を依頼する。
		実績	適切な使用を実施。



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	７月９日の課内会議にて研修実施 廃棄物の適正な分別について、実施する意義や効果を経済面・環境面から説明した
法令遵守確認研修	■ 実施	指定管理者（法人本部）が各施設に対して実施
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和7年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
目標は概ね達成していると考えます。ノー残業デーの徹底については、業務の都合上どうしてもその日限定での実施が困難な場合があることから、別日での対応等を徹底しました。 資源の有効利用、廃棄物の削減については、一人ひとりが意識しながら業務を遂行しています。	ノー残業デーの徹底に関しては、非常に多忙な部署であるからこそ、エネルギー使用量の削減の他、職員の健康管理にも大きく影響することから、引き続き徹底に努めます。 ごみを減らす取組についても、職員一人ひとりの意識が大切なので、定期的に課内研修C-EMSに関する取組を設けるよう努めます。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月26日

部局等名	福祉部	課かい名	生活支援課	推進責任者氏名	多賀谷　悦子

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	裏紙の活用など、事務用品の管理と再利用を徹底した。 ごみ箱の削減を図ることはできなかったものの、資源ごみの分別を徹底することで、可燃ごみの量は削減することができた。
	具体的内容	執務室内のごみの分別を徹底するため、ごみ箱に分別表示を設置する。また、執務室内のごみ排出量削減のため、ごみ箱の削減を図る。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	訪問及び調査時の徒歩・自転車・公共交通機関の利用を可能な限り徹底した結果、ガソリン使用量はR5年度より17ℓ減少した。また、課としてNoCarDayキャンペーンに参加し、職務中に初めて自転車を利用した職員も出るなど、自転車の利用促進に一定の効果を感じられた。
	具体的内容	訪問及び調査時の徒歩及び自転車・公共交通機関利用を推進する。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	ノー残業デーの徹底および計画的な年休取得について毎月の課内会議等で繰り返し周知した。 生活支援課職員の平均年休取得日数は約17日となり、月1回取得の目標を達成した。
	具体的内容	電力削減を目的にしたノー残業デーの徹底と年次休暇の月1回の取得を推進する。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

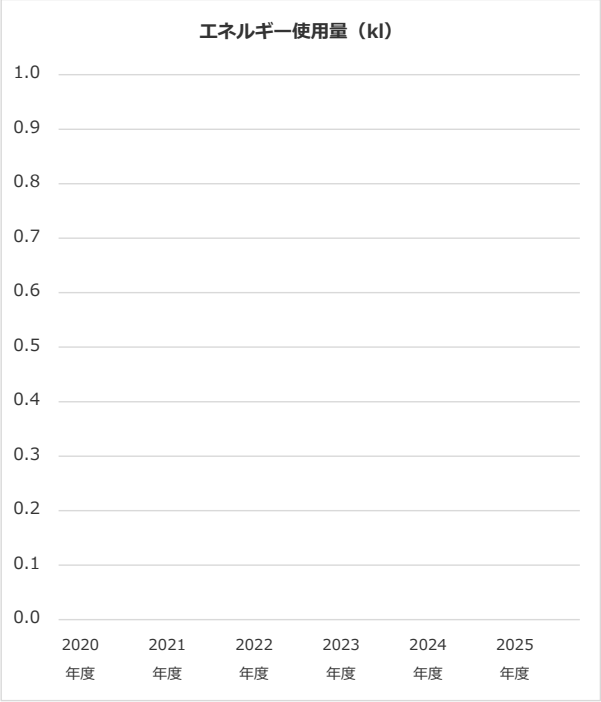
実績	前年度比　　%	達成状況	（選択してください）
達成/未達成の理由			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	0.0	0.0	0.0	0.0		
エネルギー使用量（kl）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月28日に実施（対象者28名中24名参加。欠席者には別途決定事項の周知を実施）。 C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	所管施設無しのため
新任・異動者研修	■ 実施	10月異動者が1人いたため、10月29日に研修を実施。課で掲げる目標や取り組みについて共有した。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和7年5月26日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
業務量は昨年度と大きな差はないが、ガソリン使用量はR5年より17ℓ減少、課職員の平均年休取得日数はR5年より1日増加するなど、エネルギー使用量及び廃棄物の削減に貢献することができた。また、課としてNoCarDayキャンペーンに参加するなど、目標達成へ向けた意欲的な行動が伺えた。	時間外勤務の一層の削減や計画的な年次休暇の取得に向けて、事務改善や業務のシェアなどの取り組みを引き続き行う。また、昨年のようなCO2排出量の削減を目的としたキャンペーンがあれば積極的に参加し、目標達成へ向けて意欲的な行動を取りたい。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和 7年 6月 22日

部局等名	福祉部	課かい名	地域福祉課	推進責任者氏名	瀧田 美穂

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	昨年度に引き続き、適正な分別排出を実施し、事務用品については、整理整頓を改めて実施したうえで在庫管理を徹底し、購入物品については必要最低限とした。
	具体的内容	ごみの分別を徹底するとともに、事務用品の適切な在庫管理と共有化、空き封筒の再利用等を促進する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	PC等待機電力の削減については、わずかな離席時なども含め、職員一人一人が高い意識を持って徹底するとともに、実践されていない職員に対しての注意喚起を行った。年度途中からPCコンセント抜き取りも実施した。また電動自転車の積極的な利用を行った。
	具体的内容	様々なエネルギーコスト上昇の中、待機電力削減や共用自転車の積極的な活用など職員一人一人が高い意識を持って行動する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	紙での報告書の作成やメモ書きに代え、電子データやロゴチャットの活用により、電子での情報共有を積極的に行った。
	具体的内容	積極的な資料の電子化や共有を図り、紙資料は必要最低限とする。	

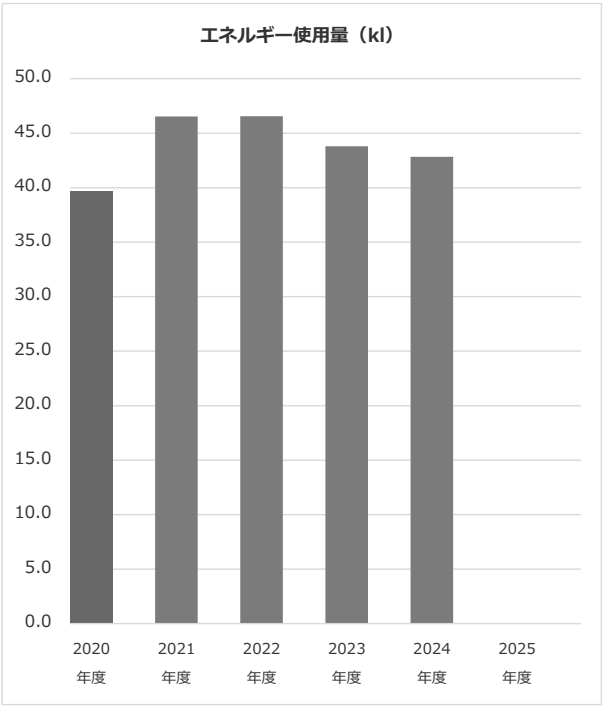
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比 −2.2% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	エネルギー使用量では昨年度比較で減少しているが、個々の電気使用量は微増傾向にあり、法改正に伴う熱量換算の係数変更の影響と考えられる。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	1537.0	1804.0	1804.7	1697.4	1660.3	
エネルギー使用量（kl）	39.7	46.5	46.6	43.8	42.8	0.0
対前年度比（%）	—	**17.4%**	**0.0%**	**−5.9%**	**−2.2%**	**−100.0%**

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	平和の礎	計画	適宜照明器具の設置状況を確認する。
		実績	適宜照明器具の設置状況を確認した。
2	農協ビル	計画	契約者に対し、省エネ協力依頼をする。
		実績	契約者に対し、省エネ協力依頼をした。
3	0	計画	0
		実績	

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	６月２０日開催の課内会議において実施予定（欠席者には別途決定事項の周知を実施）。 当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標を検討し設定した。
法令遵守確認研修	（選択してください）	0
新任・異動者研修	（選択してください）	
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和　7年　5月　22日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
引き続き電気自転車の利用をすることで、公用車利用機会の削減を図ることができています。また、積極的なロゴチャットの活用により、メモや資料の共有が電子化され、紙資料の削減につながっていると思います。	ガソリン高騰の影響もありますが、年度末に燃料費が枯渇する事態に見舞われたこともあり、更なる公用車利用削減をチーム全体で取り組んでいく必要があるると思います。また。それぞれの取組が、着実に効果を生んでいると考えますが、個々の取組を見ていると、個人差があると感じる部分もあるため、職員各々が意識を高く持って行動するよう意識啓発します。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月30日

部局等名	福祉部	課かい名	保険年金課	推進責任者氏名	前田　敦子

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	クールビズ及びウォームビズに対応した服装の推進は図れた。 ノー残業デーの実行、時間外勤務時間の削減によりPC等待機電力の削減に繋がった。わずかな離席時なども含め、職員一人一人が高い意識を持って徹底するとともに、実践されていない職員に対しての注意喚起を行った。各担当の最終退出者に対し、パソコン等の電気機器の電源確認の定着を図った。
	具体的内容	クールビズ及びウォームビズに対応した服装の推進、ノー残業デーの実行、時間外勤務時間の削減により空調、照明、PC等の使用を縮減する。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	紙での報告書の作成やメモ書きに代え、電子データやロゴチャットの活用により、電子での情報共有を積極的に行った。事務作業へのRPAの新たな導入を行った。
	具体的内容	会議資料及び事務手続きの簡略化により、連絡事項におけるロゴチャットの活用、e-kanagawa電子申請及びRPAの導入等による電子化の推進によりペーパーレス化を図る。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	ゴミを集積する際に、分別が誤って入っていたものは取り除き、適切な場所に廃棄した。使用済みのトナーカートリッジ等は適切に業者への回収依頼を行った。事務用品については、課レベルでの在庫管理と共有化、再利用を継続するとともに、購入物品については必要最低限とした。
	具体的内容	マイボトルやマイカトラリーの使用、クリアファイル等の事務用品の繰り返し使用により廃棄物を縮減する。また計画的な物品購入及び適切な在庫管理を行うとともにトナーカートリッジやFAX等は廃棄せず、業者への回収依頼を行うことによりリサイクルを推進します。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

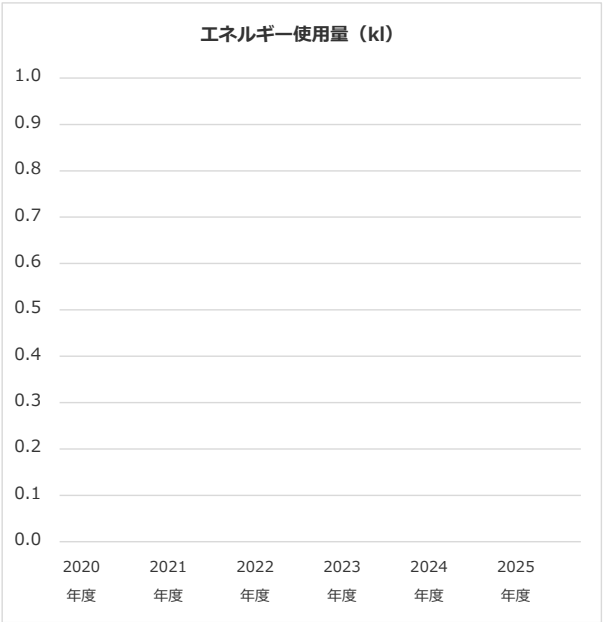
実績	前年度比　　%	達成状況	（選択してください）
達成/未達成の理由			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）						
エネルギー使用量（kl）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	令和６年６月３日（月）にC-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。研修内容についてロゴチャットを活用し、取組目標および具体的な取組内容について転入者を含む全職員へ周知し共有した。 （対象者４３名中４３名参加。会計年度任用職員には別途決定事項の周知を実施）
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 未実施	
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☐ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和7年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
今年度についても、重点取組項目である「エネルギー使用量の削減」を中心にクールビズ及びウォームビズに対応した服装を推進しました。 また、「資源の有効利用」として電子データやロゴチャットの活用により、会議結果報告等の電子での情報共有をより一層進めるとともに事務作業へのRPAの新たな導入を行い、「廃棄物の削減」についてはゴミの分別の徹底と、使用済みのトナーカートリッジ等の適切な回収依頼を行いました。	取組目標に対し一定の効果は出ておりますが、庁内で推進している更なるデジタル・トランスフォーメーションの取組を参考にしながら環境活動や取組目標との相乗効果となる取組を目指したいと考えております。